

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・定期的に県庁舎であいさつ運動を行うとともに、大分教育の日推進大会でのあいさつ運動、ガレリア竹町・セントポルタ中央町でのあいさつ運動等、継続して取組を実施し、あいさつ運動の県民への啓発・浸透を図った。
②	・おおいた青少年総合相談所のコーディネーターによる地域への広報活動、地域相談窓口の設置継続により、新規相談者の一層の掘り起こしが図られた。
③	・「大分県少年の船運行事業」は、乗船した団員(小学生)が、中学生、高校生、大人のリーダーへと成長し、県内の地域や団体で活躍する人材となっている。 ・青少年教育施設の地理的条件や特色を活かした様々な自然体験活動、ものづくり体験や科学実験教室等の科学体験活動、読書会活動などを通じて、子どもの健全育成を推進した。
④	・少年警察ボランティアやフレンドリーサポートセンター等の取組の他、地域で自主防犯パトロール隊が組織され、地域を自分たちで守ろうとする見守りの目が広がった。このような動きが、刑法犯少年の検挙・補導人数の低水準での推移の要因となっていると認められる。
⑤	・被害少年サポートネットワーク会議を開催し、加盟41機関・団体の連携強化を図り、被害少年への支援を行った。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(26年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	27年度の方向性	
①	放課後・土曜学習支援事業	50,159	A	継続・見直し	211
②	青少年自立支援対策推進事業	30,352	A	継続・見直し	85
	いじめ・不登校解決支援事業	141,680	D	例外的に継続	207
③	大分県少年の船運航事業	56,697	A	継続・見直し	86
	おおいた子ども読書活動推進事業	10,133	A	継続・見直し	213

【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

<p>○「安心・活力・発展プラン2005」第1回発展部会(H26.7)</p> <p>・生産年齢人口が減少する中で、ひきこもりやニートの若者達にもう一步踏み込んで地域に出てきていただくような施策が必要</p> <p>・不登校生徒が卒業した場合に、地域のサポートセンターに繋いでいくなど、そのままひきこもりやニートにならないような継続的な支援が必要</p>	<p>○「安心・活力・発展プラン2005」第1回発展部会(H26.7)</p> <p>・学校や行政、家庭だけに頼ることなく地域全体で若者たちのやり直しがきくような地域、社会づくりが必要</p>
---	--

【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	<p>・「大人が変われば子どもも変わる」県民運動の更なる浸透に向けて、大分県青少年健全育成県民会議加盟団体等への働きかけを強化し、部門ごとの活動の活発化を図る。</p> <p>・ネット上のいじめやネット依存による問題が指摘されている中、保護者と青少年の話し合いによりインターネットの利用にあたってのルールづくりが行われるよう、関係機関と連携して引き続き保護者と青少年双方に対しインターネット安全教育等を実施する。</p> <p>・県民の利便性を図るためにワンストップ化して開設したおおいた青少年総合相談所の周知・広報を強化し、青少年自立支援センターの一層の利用促進を図るとともに、より効果的に支援機関・団体につなぐことができるよう、関係機関・団体とのネットワークづくりを継続・強化する。</p> <p>・公立図書館による学校図書館の支援機能強化と、市町村図書館の児童サービス担当職員の資質向上のための研修を一層充実させ、市町村立図書館における子どもの読書活動の全県的な推進につなげる。</p>